報道関係各位

2025年6月23日

発信番号 25-12

ニチイ学館、新プロジェクト『MY CARE ACTION』始動

すべての人がケアに向き合う社会の実現を目指し、就労支援・職場研修・教育支援を開始

医療、介護、保育サービスなどを全国で提供する株式会社ニチイ学館(本社:東京都千代田区、代表取締役社長社長執行役員:中川 創太、以下当社)は、この度、介護を取り巻く環境の理解促進および課題解決を目的に、新たなプロジェクト『MY CARE ACTION(マイ ケア アクション)』を始動したことをお知らせします。本プロジェクトは、企業のブランド活動などを支援する株式会社パラドックス(本社:東京都渋谷区、代表取締役:鈴木 猛之)と協働し、就労支援・職場研修・教育支援を通して、社会全体のケアへの理解を育むことを目指します。



■各世代が向き合う"ケアラー"問題

超高齢社会が本格化の一途をたどる中、介護やケアはもはや一部の人だけの問題ではなく、誰もが「ケアする側・ される側」として、人生のどこかで向き合う時代が到来しています。

厚生労働省の調査(2021年)[※1] によれば、調査対象である中学 2 年生の約 17 人に 1 人が家族の介護や世話を担う「ヤングケアラー」に該当し、進学や就職の機会に制約を受けるケースも少なくありません。さらに、働き盛りの世代では、親の介護と仕事の両立に悩む「ビジネスケアラー」、子育てと介護を同時に担う「W ケアラー」も増加傾向にあります。

また、本年 4 月に改正された育児・介護休業法では、介護離職防止のための雇用環境整備が義務付けられ、6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2025 ~「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ~」(骨太方針 2025)には引き続きケアラー支援対策が盛り込まれるなど、社会全体で取り組む体制づくりが加速度的に進められています。



こうした状況を受け、ヤングケアラーやビジネスケアラー、W ケアラーなど、家庭内に閉じがちな"ケア"を、社会全体で共有・理解する環境づくりのため、当社は「ケアに直面する当事者に対する理解促進」、そして「当事者がケアと社会の中での活躍を両立できる仕組みづくり」の両面からアプローチする必要があると考えました。

また、将来を担う子どもたちに対しても、学校教育の中でケアを"自分ごと"として捉える視点を育むことが重要です。この認識のもと、当社は、就労・研修・教育の三つの柱からなる『MY CARE ACTION』プロジェクトを始動しました。本プロジェクトは今後、さまざまな民間企業や教育機関と連携し、世代を超えてケアへの理解を育む取り組みを本格化してまいります。

[※1]「ヤングケアラーの実態に関する調査研究について」https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/000767891.pdf

■『MY CARE ACTION』の目的

当社が推進する『MY CARE ACTION』は、就労・研修・教育の三つのアプローチを通じて、すべての人がケアに向き合う社会の実現を目指すプロジェクトです。



社会課題として注目されるヤングケアラーに向けた、柔軟な勤務体制・資格取得支援・職場体験などを整備した就労支援や、職場での介護・ケアへの理解を深める研修プログラムを当社内に導入します。さらに今後は学校と連携し、子どもたちがケアを"自分ごと"として捉える力を育む探究授業の実施を通じて、さまざまな立場の人々がケアに向き合っていくための取り組みを展開していきます。今はまだ身近に感じにくいケアに対して、誰もが「わたしもできるケアがある。」と思える社会づくりに向けて、仕事や教育の現場、日常に根ざしたアクションをこれからも広げてまいります。

【具体的なアクション】

・若者ケアラーの就労支援「いばしょに就こう PROJECT」

家庭での介護により、進学や就職に影響を受ける可能性のある若者ケアラーを支援することを目的に、一般社団法人ヤングケアラー協会(本社:東京都品川区、代表者:宮崎成悟)監修のもと、就労支援プロジェクト「いばしょに就こう PROJECT」を始動しました。

本プロジェクトでは、ケアと仕事の両立を可能にする柔軟な勤務体制の整備や、資格取得を支援する社内制度の導入を通じて、若者ケアラーの就労機会を広げていきます。

また、ご家族の介護サービスを希望する就職希望者に対しては、ニチイグループが提供する介護サービスを利用できる仕組みなどの整備に取り組んでまいります。就労前には、ご本人の職場とご家族の入居施設をそれぞれに見学できる「ふたりで無料体験」制度も用意し、安心して就労に踏み出せる環境を提供します。



2025年6月から埼玉県および愛知県エリアにて順次スタートし、2026年以降、全国へ展開予定です。



・ケアラーと共に働く上での意識・環境づくり「職場のケア研修」

「ケアと仕事の両立」に対する職場および社会全体の理解を促進することを目的に、「職場のケア研修」を進めてまいります。

今回のプロジェクトは、ヤングケアラーの就労支援などを行う株式会社 ENCHORD (本社:東京都港区、代表取締役 CEO:高垣内 文也) 監修のもと、ヤングケアラーや若年層のワーキングケアラーの実体験をもとにしたケーススタディを中心に構成し、参加者が当事者の視点や悩みを深く理解できる内容となっています。

まずは、埼玉県および愛知県エリアにある当社の支店、介護拠点を対象に、参加者が当事者の立場や悩みを具体的に理解し、実務的な配慮へとつなげるための研修を 2025 年 6 月より開始しました。

全国に介護拠点を展開する当社だからこそ、職場内での理解促進が地域社会全体へと波及し、介護を担う人が働きやすい社会づくりの一助となることを目指していきます。

今後はこの研修を全国の介護拠点へ展開するとともに、

『MY CARE ACTION』を通してケアラーとともに働く環境づくりを推進し、その取り組みやノウハウを社内外に積極的に発信してまいります。



研修当日の様子

▶当日の研修の様子はこちらよりご覧いただけます。 https://youtu.be/LqGgv5c4BVM

・探究型プログラム「ケア探究学習」

次世代のケア理解を育むことを目的に、広告会社の株式会社 TBWA HAKUHODO(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:内田 渉)とコラボレーションして、ケアを探求する独自授業を開発し、学校現場へ展開していきます。

今回のコラボレーションでは、「ケア」という視点を教育現場に 持ち込み、子どもたちが身近なテーマと組み合わせながら、自分な りのケアのかたちを考え、発表する授業を実施します。この取り組 みは、単なる福祉教育ではなく、「誰もが当事者になり得るケア」 について、子どもたちが自分ごととして捉えるきっかけを提供する ものです。

今秋に一部の学校で探究授業の実施を予定しており、その後は全 国の学校への展開を視野に入れています。次世代を担う子どもたち が「わたしもできるケアがある。」と思える社会づくりに取り組ん でまいります。 ケサア 探究学習

[URL]

■『MY CARE ACTION』特設サイト

https://nichii-mycareaction.jp

■『いばしょに就こう PROJECT』特設サイト

https://ibasho.nichii-mycareaction.jp

X公式アカウント

https://x.com/Nichii_MCA

【会社概要】

■ 株式会社ニチイ学館

設立:1973年8月

所在地:東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ

代表者:代表取締役社長 社長執行役員 中川 創太

事業内容:医療関連事業、介護事業、保育事業、ヘルスケア事業

公式 HP: https://www.nichiigakkan.co.jp/

■ 株式会社パラドックス

設立:2001年8月

所在地:東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー13F

代表者:代表取締役 鈴木猛之

事業内容:・企業の DNA を踏まえた企業理念・ロゴマーク・ビジュアル構築(コーポレートブランディング)

- ・理念浸透・周年企画 (インナーブランディング)
- ・事業ビジョンやコンセプト、戦略の構築(カスタマーブランディング)
- ・採用コンセプトの構築とそれらをもとにした戦略構築(採用ブランディング)
- ・グラフィック、Web、映像領域等の各種制作

公式 HP: https://prdx.co.jp/

■ 一般社団法人ヤングケアラー協会

設立: 2021 年 11 月

所在地:東京都品川区旗の台2丁目9-32 ベルビューヒル101号室

代表者: 宮崎成悟

事業内容:LINE 相談窓口、相談事業、ヤングケアラーコーディネーター、イベント、研修・講演会、オンライ

ンコミュニティ運営

公式 HP: https://youngcarerjapan.com/

■ 株式会社 ENCHORD

設立: 2024年10月

所在地:東京都港区虎ノ門1丁目17-1虎ノ門ヒルズビジネスタワー

代表者:高垣内 文也

事業内容:介護と仕事の両立支援、ケアラー支援、コンサルティング

公式 HP: https://enchord.co.jp/home

■ 株式会社 TBWA HAKUHODO

設立:2006年8月

所在地:東京都港区芝浦 1-13-10 第3東運ビル

代表者:代表取締役社長兼 CEO 内田 涉

事業内容:総合広告事業全般

公式 HP:https://www.tbwahakuhodo.co.jp/